

Economic Indicators

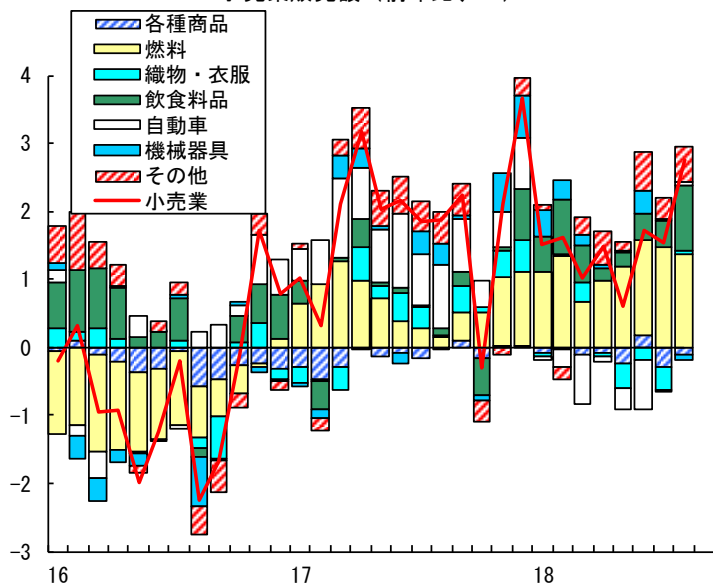
発表日: 2018年9月28日(金)

小売業販売額(2018年8月)

～名目では好調も、実質では横ばい圏～

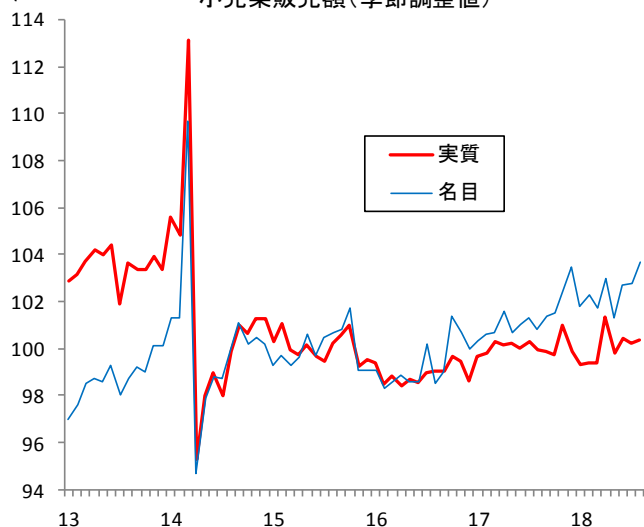
第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
 主席エコノミスト 新家 義貴(Tel:03-5221-4528)

小売業販売額(前年比、%)



(出所)経済産業省「商業動態統計」

小売業販売額(季節調整値)



(出所)経済産業省「商業動態統計」

(注)実質化及び実質値の季節調整は第一生命経済研究所

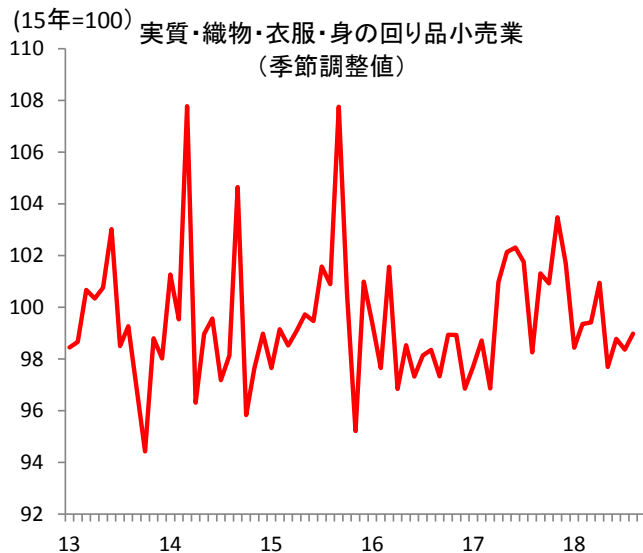
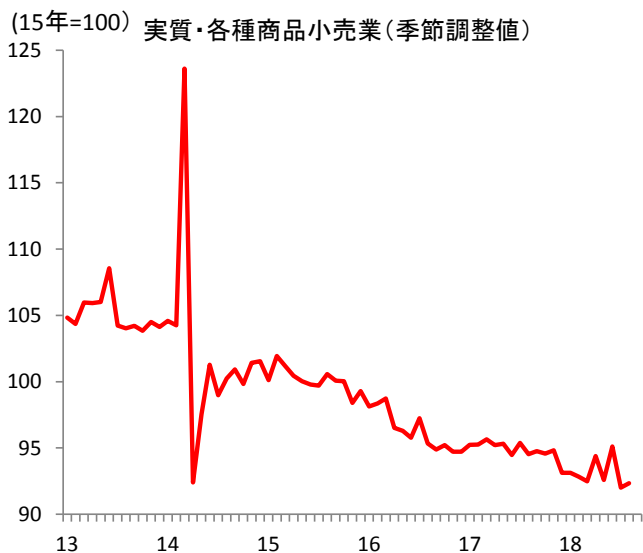
○実質値で見れば、7-8月平均の水準は4-6月期を下回る

経済産業省から公表された8月の小売業販売額は前年比+2.7%となった。前月の+1.5%から伸びが明確に拡大し、事前の市場予想(+2.0%)も上回っている。季節調整済み前月比でも+0.9%と比較的高い伸びである。この結果、7-8月平均の水準(季節調整値)は4-6月期を0.9%Pt上回っている。

もっとも小売業販売額は名目で示されていることに注意が必要である。このところの小売業販売額は、野菜価格やエネルギー価格の上昇により見かけ上押し上げられている面が大きく、実質で見ればかなり姿が変わる。実際、価格変動の影響を考慮した実質値(実質化と季節調整は筆者)でみると前月比+0.1%(7月:▲0.2%)にとどまっており、7-8月の水準も4-6月期を0.2%Pt下回る形になる。筆者が想定していたよりは上振れているが、それでも7-8月の小売業販売額は弱めとの評価になるだろう。4-6月期については個人消費が高い伸びとなったが、7-9月期は前期比でマイナスに転じる可能性があるとみている。

なお、業種別(実質値)に7-8月平均の値を4-6月期と比較すると、自動車小売業(+1.7%)が強い一方で、各種商品小売業(▲2.0%)や燃料小売業(▲1.2%)、飲食料品小売業(▲0.3%)などが下振れている。燃料小売業や飲食料品小売業は、名目ではそれぞれ+1.4%、+1.6%とプラスだが、

ともにガソリン価格や野菜価格の上昇によって見かけ上押し上げられており、実質では弱い動きにとどまっている。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 実質化及び実質値の季節調整は第一生命経済研究所

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

